



水道フレンズになろうよ♪

僕の未来の友人へ

水道フレンズ事業は、みなさんのご協力のおかげで3年目を迎えます。

これまで、たくさんの方にご登録いただき、

みなさんと一緒に楽しく水道について考えてきました♪

そこで、さらに多くの方にお会いできるように、

新たに水道フレンズを募集することにしました!

毎回大好評の水道フレンズ交流会のほか、夏休みにお子さまやお孫さまと

一緒にご参加いただける特別イベントも予定しています!

みなさんにお会いできるのを楽しみに待っています♪

カッピーより

水道フレンズ交流会

大好評の水道フレンズ交流会では、普段は見るできないダムや浄水場などを見学します。また、水道水とミネラルウォーターを飲み比べる「利き水体験」などにも挑戦していただけます!



夏休み期間中! 特別イベント

お子さまやお孫さまと一緒に浄水場を見学したり、「水」を使った楽しい科学実験や工作教室なども行います!



アンケート調査

年3回のアンケート調査にご協力いただくと、プレゼントがもらえます!

応募方法

3月15日(水)
応募締切

- ▶ 給水区域内にお住まいの方
- ▶ 平成29年4月1日現在 満18歳以上の方
- ▶ インターネット環境が利用できる方

以上3点の条件を満たしている方は、どなたでもご応募いただけます♪
ホームページ内応募フォームからお申し込みください。

- ▶ 水道フレンズのホームページはこちら
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f41151/p878381.html>
- ▶ 水道企業フレンズについてはこちら
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f41151/p894657.html>

平成28年度 作品募集の結果発表

水道の大切さや水への理解と関心を高めていただくため、小・中学生を対象とした「水道に関する作品コンクール」と、小学生から一般の方を対象とした「水のある暮らし・風景写真コンテスト」を実施しました。最優秀賞(神奈川県知事賞)をはじめとする入賞作品が決まり、平成28年12月4日に表彰式を実施しましたので、各部門の最優秀賞(神奈川県知事賞)及び、優秀賞(神奈川県企業庁長賞)をご紹介します。

水道に関する作品コンクール 作文の部

小学生の部

最優秀賞
「花も人も」
湘南白百合学園小学校 4年
小糸 楓子さん

優秀賞
「宇宙船『地球号』の水を守るには」
湘南白百合学園小学校 4年
岡田 芽依さん

中学生の部

最優秀賞
「水の危機」
神奈川県立平塚中等教育学校 1年
磯部 楓花さん

優秀賞
「未来の水を大切に」
厚木市立厚木中学校 3年
齋藤 一葉さん

水道に関する作品コンクール ポスターの部

小学生の部



最優秀賞
綾瀬市立天台小学校 5年
間橋 李さん



優秀賞
厚木市立毛利台小学校 6年
秋田 愛絵さん

中学生の部



最優秀賞
茅ヶ崎市立赤羽根中学校 3年
黒田 愛玲さん



優秀賞
神奈川県立相模原中等教育学校 1年
山口 裕乃さん

水のある暮らし・風景写真コンテスト

暮らし部門



最優秀賞
「水あび」 矢代 六花さん

風景部門



最優秀賞
「展望デッキは最高」 小池 久男さん

私たちの毎日の生活に欠かせない水。浄水場は、安全・安心な水道水をつくり続ける、言わば水の製造工場であり、地震などの災害時においても、水道水を継続して供給する、大切な使命があります。

県営水道には、相模川上流部に谷ヶ原浄水場、中流部に寒川浄水場の2つの主要な浄水場があり、「災害に強い水道づくり」の一環として、優先的に耐震化工事を進めています。

耐震化が必要な構造物は、沈でん池やろ過池など、コンクリート製のプールのようなもので、壁を厚くしたり、壁の間を鋼材で支えたりして補強します。

もちろん、工事中でも水を安定的に送り続けなければならないため、部分的に施設を停止させ工事を行わなければならない。水の需要が多い夏場を避けるなどの制約もあります。耐震化の完了までには、長い期間と多額の費用がかかりますが、「命の水」を確保する重要な取組ですので、着実に進めていきます。



沈でん池上部に鋼材を設置している様子

水道施設の耐震化② 浄水場の耐震化工事

私たちの毎日の生活に欠かせない水。

浄水場は、安全・安心な水道水をつくり続ける、言わば水の製造工場であり、地震などの災害時においても、水道水を継続して供給する、大切な使命があります。

県営水道には、相模川上流部に谷ヶ原浄水場、中流部に寒川浄水場の2つの主要な浄水場があり、「災害に強い水道づくり」の一環として、優先的に耐震化工事を進めています。

耐震化が必要な構造物は、沈でん池やろ過池など、コンクリート製のプールのようなもので、壁を厚くしたり、壁の間を鋼材で支えたりして補強します。

もちろん、工事中でも水を安定的に送り続けなければならないため、部分的に施設を停止させ工事を行わなければならない。水の需要が多い夏場を避けるなどの制約もあります。耐震化の完了までには、長い期間と多額の費用がかかりますが、「命の水」を確保する重要な取組ですので、着実に進めていきます。

私たちの毎日の生活に欠かせない水。浄水場は、安全・安心な水道水をつくり続ける、言わば水の製造工場であり、地震などの災害時においても、水道水を継続して供給する、大切な使命があります。

県営水道には、相模川上流部に谷ヶ原浄水場、中流部に寒川浄水場の2つの主要な浄水場があり、「災害に強い水道づくり」の一環として、優先的に耐震化工事を進めています。

22世紀につながる
インフラをめざして

水道
100歳
時代



▲写真: 水道管を運ぶ様子(昭和初期、湘南地方)